

起伏しらぬ

(大正十一年寢歌)

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

一

起伏^{おきふし}知らぬ運命^{さだめ}こそ
時の流転^{るとん}の弧^この上^{うえ}を
あはれ雪解^{ゆきげ}のましみづに
なが^{なが}流^つれて尽^たきぬ濁流^{だくりゅう}よ

二

未知^{みち}のひろ野^ののかぎろひて
かが^{かが}や輝^{ひかり}くまでに萌^もえ出^いでし
若^{わか}き草木^{くさき}のさゆらぎに
はる^{はる}ふか^{ふか}ひ春^{はる}深^{ふか}き日^ひの逍遙^{さうやう}や

三

澄^すみて雲^{くも}なき空^{そら}と野^のを
かぎ^{かぎ}りて走^{はし}る山^{やま}並^{なみ}に
たか^{たか}高^{たか}き心^{こころ}のをの^のきは
おど^{おど}躍^{ちほ}る血潮^{ちほ}の真夏^{まなつ}日^ひ陽^ひよ

四

銀^{ぎん}の香炉^{こうろ}にしのび雨^{あめ}
楡^{いれ}の繁^{しげ}みに交^{まじ}らへば
おほあめつち大^{おほ}天地^{あめつち}も傾^{かたむ}きて
いのち命^{いのち}かなしき秋^{あき}なれや

五

夜^よ毎^{ごと}にさゆる窓^{まど}の星^{ほし}
やみゆ闇^{やみ}行^ゆく櫓^{りょ}の鈴^{すず}の音^{おと}に
まこと真^ま理^{こと}の水^{みづ}の人^{ひと}掬^{むす}ひ
もと求^{もと}めてやまぬ瞑想^{めいさう}よ

六

深^{ふか}き安^い息^{こひ}の夢^{ゆめ}やすく
げに憧^{あこが}憬^れの地^ちやこ^こに
たくみ芸^{えい}術^{じゆ}の霊^{れい}ぞただよへる
じいう自由^{じいう}の精^{せい}ぞみなぎれる